

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2010. 5.24
No.1954
No.37



出席率	会員54名中36名
先々週の出席率	95.92%
先週の メイクアップ	5/20 三條東RCへ 荊澤喜一郎君 5/20 燕RCへ 飯山勝義君 西巻克郎君 野島廣一郎君 佐々木常行君 鈴木 武君 田中悌司君 谷 晴夫君 吉井正孝君
	5/22 地区協議会(上越)へ 馬場信彦君 荊澤喜一郎君 大溪秀夫君 野崎正明君 安達 裕君 赤塚 寧君 荒澤威彦君 長谷川晴生君 嘉瀬 修君 野中 悟君 鈴木圀彦君 田代徳太郎君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

挨拶をさせていただきます。

22日(土)の地区協議会、ご出席の皆様ご苦労様でした。

昨年の地区協も5月23日に柏崎で開催されたのですが、昨年5月は新型インフルエンザの流行で、全国の休校が4,043校、144万人の児童・生徒が自宅待機となり、1~3月の国民総生産GDPも前年比4.1%減、年率15.2%減となり、株価は平均9,264円、為替が94.76円という不況の真っ直中でした。

今年に入り、景気もやや回復してきて、自動車大手7社の2011年3月期の世界販売台数は、前年比5.2%増の2,020万8千台と3年ぶりに2千万台を回復する見通しです。

日本鉄鋼連盟が21日に発表した4月の鉄鋼生産概況によりますと、粗鋼生産は前年同月比56.7%増の898万トンとなりました。前年同月比6ヶ月連続のプラスです。ただ、昨年が一昨年比43%減の572万トン、前年同月比7ヶ月連続マイナスでしたので、一昨年比ではまだ今年も13%減となっています。

ギリシャ問題で、現在ユーロ安、ドル安、円高となっており、株価も1万円を切り、本日9,756円で、高品相場も急降下しています。

電気銅が 月初め 7,345ドルが 6,456ドル 889ドル減
アルミが // 2,184ドルが 1,936ドル 248ドル減
ニッケルが // 25,620ドルが 21,095ドル 4,525ドル減
金は、5月13日にトロイオンス 1,249.2ドルと過去最高値をつけたのですが、23日 1,188.6ドルまで落ちてしまいました。日本円でもグラム3,728円が3,440円に落ち、経済の先行きはまだまだ不透明です。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三條北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10
三條信用金庫 本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL http://www.sanjo-minami.jp

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 5月24日 10,000円
今年度累計 622,000円～

佐藤（嘉）君 土曜の地区協に出席の方々、ご苦労様でした。
孫が先週から里帰り、家中大騒ぎです。

荒澤君 5/22地区協議会に行って来ました。今年度の終わりが近いことを確認して来ました。

馬場（信）君 ①三条祭はお蔭様で晴天に恵まれ、事故もなく無事に終わりました。来年は日曜日でNSTの日本の祭に選ばれました。ご期待下さい。
②地区協議会は盛大に終わりました。次年度役員の方は頑張ってください。

蕪澤君

地区協議会にご出席いただいた次年度会長・幹事・関係委員長ご苦労様でした。馬場研修リーダー、大変ご苦労様でした。

大溪君

5月22日に地区協会が上越で開催されました。参加された皆様、ご苦労様でした。

野崎君

一昨日の2010～11年度地区協議会には12名の皆様よりご出席いただき有難うございました。研修リーダーでいらっしゃる馬場PGの指導の下での開催で、充実した一日でした。

赤塚君、銅冶君、馬場（一）君

BOXに協力いたします。

Club Forum

地区協議会報告会

クラブフォーラム

大溪 秀夫 会長エレクト



2010～11 年度R I テーマ



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～11 年度地区テーマ



地区のテーマ

きずな

友絆—地域とともに

地区運営方針

熱意ある行動こそ奉仕の本質

5月22日（土）上越にて「2010～11年度R I 第2560地区協議会」が開催されました。

国際ロータリーのテーマ並びに東山年度における地区テーマ、基本方針が説明され、その後基調講演として第2830地区パストガバナー（2000～01年度ガバナー）関場慶博先生から「ロータリーの明日のために」と題しての講演、午後からは、各セッション（第1～7）に分かれ活発な討議がなされました。

最後に米山学友の張旭梅さんから体験談のお話があり、懇親会へと移動、閉会となりました。

参加された会員の皆様、大変ご苦労様でした。

赤塚 寧 次年度社会奉仕委員長



5月22日（土）上越市のデュオ・セレッソで地区協議会が開催され、私自身は次年度大溪会長のもとで社会奉仕を仰せつかっているため、それを中心に何かを掴んでみようというつもりで参加させていただきました。

●午前中は、植木ガバナーの「東山ガバナーの思いを受け止め、新年度に生かそう！」という挨拶から、東山ガバナーエレクトが「友絆—地域とともに」のテーマのもと基本方針や「熱意ある行動こそ奉仕の本質」という運営方針について述べられました。

●国際ロータリー2830地区PGの関場氏の基調講演があり、「ロータリーの明日のために」というテーマで話されました。

その中で、「最近のロータリーは何か元気がない、閉塞感がある。その原因を探ると感動がない。例えば、会員増強においても会員一人が一年間に一人を入会させるのはそう難しい

ことではない。自分自身が本当に素晴らしいと思っていれば他人にも一所懸命勤めるのではないか。それには職業奉仕を土台に会員一人ひとりが自己修練と専門的水準を高め、その業務を通じてより住みよい社会を築くためにはどうすればよいかを考えることが大切だ」と、そして、実際お医者さんである関場氏はインドに行かれ、ポリオワクチンの接種という活動を通じて感動を覚えられ、ロータリーに対するより深い理解が得られたと語っておられました。

- 分科会では第3セッション：職業奉仕・社会奉仕委員会に出席致しました。奉仕活動の事例発表があり、印象に残った2件をご紹介します。
 - ・高田RCが上越市の教育支援センターと地元企業が一体になって取り組んでいる「職場体験学習」に参加、「職場体験を通して地域の人々と触れ合う中で子供を育てる」活動を進めています。
 - ・第7分区共同事業で「もっと、環境にやさしい在来線を活用しよう」のポスターの貼付
- 東京大学博士課程在学中の米山学友 張 旭梅さんのスピーチ「ロータリーとの出会いが人生を変えた」は、ひとりぼっちでアルバイトに追われ、勉強にも打ち込めない寂しい生活がこの奨学金のお陰で金銭的な余裕と安心して深い付き合いができる仲間を得ることができたとの内容でした。このスピーチで私自身もロータリーの、米山奨学の認識が新たなものに変化しました。

鈴木 園彦 次年度クラブ奉仕A委員長（会長エレクト）



第2セッション：クラブ奉仕・広報、会員増強・拡大、クラブ活性化委員会に出席して
 アドバイザー 地区研修リーダー 馬場信彦PG
 リーダー 地区クラブ奉仕・広報委員長 大谷光夫(高田)

- 最重要課題
 「ロータリーの原点を私達ロータリアンは再度見つめ直し、深く認識しましょう」
- 会員増強・・・ 期末には純増1名を目標
- クラブ活性化委員会・・・ 例会の充実を重点目標に、その為にはプログラム委員会の充実が大事

- 退会防止・・・ ロータリー情報委員会が特に3年未満の新入会員に対するアプローチを万全に行う
- 現状調査アンケート集計結果
 数十項目に亘って行われたアンケートの説明
- CLP（クラブリーダーシッププラン）に対する質疑と説明
 各クラブの委員会活動は、自分のクラブの実状に合わせて作るように
- 日本のロータリークラブの会員の減少・・・ 130,000人以上が昨年92,000人に減少
- 規定審議会（4月 於：シカゴ）報告 規定審議会代表議員 中條耕二PG
 - ・Eクラブを規定する件
 インターネットクラブ・Eクラブの誕生
 アメリカではすでに昨年誕生。ロータリークラブの世界が大きく変わりつつある。（その他、出席規定の変更等いくつかの規則の変更もあり）
 - ・新入会員のためにクラブの研修・リーダーシップ委員会の設置
 - ・第五奉仕部門「青少年奉仕」を加える

馬場 信彦 地区研修リーダー



最初に東山インカミングガバナーから、2010~11年度RI会長レイ・クリンギンスミス氏のRIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」の説明、東山年度の地区テーマ「友絆（きずな）—地域とともに」、地区方針「熱意ある行動こそ奉仕の本質」が示され、さらに7つのセッションで、地区委員長、パストガバナーによるアドバイスをいただきました。地区内57クラブの次期会長、幹事、各委員長はより理解を深められたことと思います。それぞれの地域にあって事業展開の中で大いに実現されることを期待しております。

こうやって、毎年ロータリーの指導者のバトンが次期ロータリー指導者へと引き継がれます。いま、幾世代にもわたって受け継がれたロータリークラブの役員として研修され、情熱を新たに、新鮮な考えでクラブの先人達の足跡を土台により堅固なクラブを築くことが、研修

された皆様の仕事と考えます。間もなく、新年度を迎えます。クラブの改善に向けどのようなアイデアをお持ちでしょうか。私のガバナー年度のRIのテーマは「夢をかたちに」でした。計画をしっかりと立てる前に、大きな夢を描いてみてください。夢を描くことが出来れば、必ず実現できます。その心は、今年度のRIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」にあります。そして、次期RIテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」であります。皆さんの地域でなければ出来ないことへの挑戦に期待します。

そして、世界で 1,216,983 人（2009 年 10 月 31 日現在、「友」より）のロータリアンがいます。クラブ会長は 33,695 人、ガバナーは 531 人、R I の理事は 19 人、R I 会長は 1 人、この中で最も重要な役員は誰でしょうか。それは、もちろん「クラブ会長」なのです。2560 地区では 57 名のクラブ会長がおり、全てのクラブは親睦と奉仕という目的を共有しています、夢のある手段を是非実行していただいて、それぞれの地域を育んでください。そのことが大陸をつなぐことになると思うからです。

ロータリーの綱領の第 1 に「奉仕の機会として知り合いを広めること」とあります。ただ楽しければよいという感性的な親睦だけでなく、切磋琢磨する精神的親睦で知り合いを広める、つまり新しい友を得る努力をして頂きたいと要望します。

ROTARY NEWS

国際ローターニューズ 2010 年 5 月 24 日

歴史に残る1ページ:グレイス・アイリーン・マンからの手紙

ロータリー創設者、ポール P. ハリスが、妻のジーンと出会う以前に、あるロマンスを経験していたことを知る人は少ないのではないのでしょうか。

ハリスは 1905 年、友人と元上司のジョージ C. クラークに会いにジャクソンビルを訪れたとき、グレイス・アイリーン・マンという女性に出会いました。彼女は、米国フロリダ州のある著名な家で生まれ育った女性でした。二人は文通をするようになり、雑談をしたり、神学や哲学、また家族について語り合ったりし、親愛の情を交わしました。またハリスは、シカゴロータリークラブの例会場所を探していることやクラブ定款について伝えました。



ロータリーについて語るハリスに、マンも熱意を込めて受け答えしました。

「あなたがお書きになったロータリークラブの定款や細則に、私は強く心を惹かれています。大切なことを押さえて欠けるところがなく、無駄のない内容であると私は思います。細則の内容は特に素晴らしいですね」

交わされた手紙を追っていくと、1906 年の秋に結婚の話が浮上します。しかし最終的には、マンの家族がハリスとの結婚を認めませんでした。翌年 5 月、ハリスとマンの交流は途絶えました。最後となるマンへの手紙に、ハリスは以下のような言葉をつづっています。

「あなたの将来に、強く関心を抱いています。あなたが立派な女性となることを願い、きっとそうなるであろうと固く信じています。幸せになってください。ドールトンの皆さんにもよろしくお伝えください。心を込めて。
ポール P. ハリス」

ハリスは当時の習わしに従い、マンからの手紙をすべて、本人に送り返しました。その後の 1910 年 6 月、マンはジョン・マレル・ベルという男性と結婚し、ハリスと交わした手紙を姉妹であるメイ・マン・ジェニングスの家の屋根裏に保管しました。それらの手紙は、1963 年に家が解体されたとき、マンの長女であるエリザベスに引き渡されました。

時は過ぎて 1997 年、それらの手紙は、マンの娘であるグレイス・ベル・ロジャースによって、国際ロータリーに寄贈されました。



6月のお祝い

■ 会員誕生	2 日 熊倉高志君	15 日 相田明雄君	18 日 渡邊光郎君
	21 日 田中悌司君	21 日 星野健司君	
■ 夫人誕生	3 日 馬場廉子（輝仁）さん		

結婚記念

10 日 佐々木常行君・朋子さん	11 日 平松修之君・貴子さん	12 日 大溪秀夫君・明子さん
------------------	-----------------	-----------------

表紙について

宇田 荻邨（うだ てきそん）
三重県出身（1896-1980）
■「祇園の雨」 1953 年（昭和 28）作
三重県立美術館蔵
ロータリーの友 1996 年 5 月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報
2010. 5.24
No.1954 No.37